

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	3D画像解析ソフトを用いた腹部臓器のサイズやCT値に関する検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2026年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院で体幹部(胸部～骨盤)の造影CT検査を施行された患者さん		
④ 対象期間	2022年2月1日 から 2022年7月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科(先進救急医療センターを除く)		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	日常診療から収集する項目(識別コード、年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、血液検査[クレアチニン、eGFR]、CT画像) 本研究の解析で得る情報(日常診療で撮像されたCTから計測)(肝臓・膵臓・脾臓・腎臓・大腰筋の体積およびCT値、臍レベルの体周囲長、皮下・内臓脂肪量)		
⑨ 研究の概要	<p>CT検査は病変のスクリーニングや経過観察などの日常診療で広く利用されています。最近では画像解析ソフトも進歩し、腹部の臓器を自動で認識し、その体積やCT値を自動で計算できるようになってきています。腹部においては、病態に応じて超音波やCTを用いた各臓器のサイズを測定した報告は多いですが、各臓器サイズの相関を年齢、肥満、腎障害の有無などで検討した報告はまだ少ないです。</p> <p>本研究の目的は、腹部臓器の体積やCT値をSYNAPSE SAI viewerや3D画像解析ソフトSYNAPSE VINCENT(富士フイルム株式会社)を用いて定量化し、年齢、肥満、腎障害の有無との間に相関があるかを検討することです。加齢、肥満、腎機能低下に伴う腹部臓器の形態変化を認識することは、病態生理を理解し、病変の早期発見を目指す上で重要な基盤となります。なお、富士フイルム株式会社からの寄付金の受け入れはありません。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2024年 1月 9日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：清山遥加		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285